

15. 日本にアフリカ豚熱を侵入させないために必要な対策

幾重にもウイルスを殺す機会を作る！
幾重にもウイルスと動物の接触機会をなくす！

海外対策

<旅行者 & 船舶・航空機>

水際対策

<空港 & 海港>

国内対策

<農場 & 野生イノシシ>

出国前から日本に持ち込ませない

- ・旅行者への畜産物持ち込み禁止等の注意喚起



国内に侵入させない

- ・家畜防疫官、検疫探知犬による検査
- ・旅客の靴底や車両、自転車等の消毒



周知徹底

周知徹底

動物検疫所



海外からの旅行者等に向けた広報等



農場に侵入させない

- ・飼養衛生管理の徹底



都道府県

野生イノシシの感染を防止する

- ・旅行者等への周知徹底 <ゴミ放置禁止、消毒等>
- ・消毒・洗浄ポイントの設置等



都府県

16. アフリカ豚熱対策の更なる強化①（水際対策の徹底）

出国前から日本に持ち込ませない

- 釜山から日本に直行する**全てのフェリー等（5社）**における、**船内アナウンスによる畜産物持ち込み禁止・罰則に関する注意喚起や注意すべき取組を示したポスターの船内掲示等の実施**。また、韓国から日本への直行便のある**航空会社**についても、**11社が機内アナウンス**による注意喚起等を実施。
- 在外公館による**韓国出国前の旅行者に対するSNSを利用した情報発信・旅券発券時のリーフレット配布等**を継続的に実施。関係団体を通じ、**旅行代理店、技能実習生等への注意喚起と情報発信**。
- 訪日韓国旅行者客に影響力を持つ人気**韓国人ブLOGGER**から、**畜産物持ち込み禁止及び靴や自転車の泥を落とすこと等**についての**情報発信**。

＜各言語のチラシを活用＞



空海港における対策

- 韓国からの全ての船舶及び航空便に対して、家畜防疫官による検査**を実施中。釜山からの船舶に対しては**全ての旅客に口頭質問を実施**し、トレッキングシューズ、ゴルフシューズ等の要消毒物品に対して対応を確実に実施し、検疫探知犬についても可能な限り活動回数を増加。航空便に対してはさらに**検疫探知犬の活動回数を増加**。
- 従来から**国際線が就航する全ての空海港に靴底消毒マットを設置**。旅客の靴底や自転車等に対して十分な効果がある消毒を実施できるよう、**適切な濃度の消毒液の活用や消毒マットの効果的な配置**。
- 関係機関、航空関係者、港湾関係者と連携し、釜山定期旅客船の就航する4港（下関港、博多港、比田勝港、大阪港）においては、**車両、自転車等の消毒を実施**。フェリーに搭載される車両について、乗船前の消毒を実施するよう船舶会社に依頼。畜産関係車両については入国時にも車両消毒を実施。
- 国内線における靴底消毒マットの設置について、都道府県に改めて実施依頼（予定）。

野生イノシシ等への感染防止対策

- 釜山広域市と主要な定期フェリー航路を有している県を中心に、**韓国人旅行者の立ち寄り場所などリスクの高い場所を特定して、効果的に野生イノシシ等への侵入防止対策を新たに実施**。
- 1月に全国の担当者を対象として会議を開催し、観光地やレクリエーションなどの**訪日旅行者の立ち寄り場所について分析中**。**空海港や農場周辺のみならず、バスやレンタカー等、都市部や河川敷など**における、**ポスター掲示等による注意喚起やゴミ箱の設置や管理の徹底、消毒の実施**など必要な対策を**各都道府県で実施**。